

宇都宮市 学校 情報教育 だより

～学校で情報機器を活用するためのヒントや授業実践例などを紹介していきます。～

＝ 平成 22 年度 情報教育実践研修 ＝

教育センターでは、情報活用能力の育成にかかわる講話、実践事例の紹介、ソフトの操作実習、授業研究などを通して、パソコンやインターネット等を活用した授業を展開するための技術、及び指導力の向上を図ることを目的とした「情報教育実践研修」を実施しております。

今年度の情報教育実践研修では、中学校-国語 第3日目に姿川中学校を会場として、小学校-下学年第3日目に上戸祭小学校、宮の原小学校、五代小学校を会場として、公開授業を実施しました。

黒板を使った今までの授業に、50インチデジタルテレビやパソコン、教材提示装置などのICTを効果的に取り入れることで、「分かる・できる・楽しい」授業を行うことができます。

□ 音と音をあわせると

＜音楽＞

上戸祭小学校 2年



鉄床の音に気をつけながら、拍の流れののって楽しく「かじやのポルカ」を聴くことをねらいとした授業でした。

初めに、鉄床の音を

CDで聴かせて、どんな楽器かを想像させました。既習の楽器の音色と聴き比べることで、児童の興味を引き出すことができました。「かじやのポルカ」を動画で視聴した場面では、楽しそうに、オーケストラの演奏に合わせて鉄床を打つまねをしたり指揮者のまねをしたりする児童の姿が見られました。

□ こまったさんをさがせ！

＜道徳＞

宮の原小学校 2年



資料の絵の中から、「物を大切にしている人」や「迷惑をかけている人」「危ないことをしている人」を探し出し実物投影機を使って発表させました。デジ

タルテレビに大きく映し出すことで、場面のイメージを共有しながら話し合いを進めることができました。

授業の終末には、自分自身の生活を振り返り、良くできている点と直さなければいけない点について考えさせました。学校生活の様子を映像で振り返ることで、実生活と結びつけた考えを引き出すことができました。

□ 直角と三角形、四角形

＜算数＞

五代小学校 2年



長方形や正方形、直角三角形を使って、平面の敷き詰めを行いました。

教師が作成した見本の敷き詰めをもとに話し合うことで、

敷き詰めの方法を理解し、児童一人一人が見通しを持って活動に取り組むことができました。また、図形の敷き詰めを行っていく過程で、児童が作成した敷き詰めをデジタルカメラで撮影しデジタルテレビに大きく映すことで、友達のことを共有したり自分の思考を深めたりすることができました。

□ 枕草子

＜国語＞

姿川中学校 2年



筆者である清少納言が「枕草紙」につづった情景や色彩を想像する手助けとして、画像を提示しながら音読をさせました。曖昧になりがちな四季折々の美

しさを身近なものとしてイメージさせるのに、大変効果的でした。

生徒自身が考えた「平成枕草子」を発表する際には、生徒の作品をスクリーンに大きく映し出すことで、生徒の視線が集まり、発表者、聞き手の両方の立場で分かりやすい学習活動を展開することができました。